

領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

領土・主権展示館 企画展

日本の 島と海と空を 守る仕事

2023.7.25_火—9.24_日

同時開催「夏休み親子イベント2023」



イラスト提供：防衛省

夏休み親子イベントは
1F 図書・多目的スペース
にて開催中

制服を試着して記念撮影や、
ぬり絵、パズルなど、
楽しいイベントをたくさん
ご用意しております。
ふるってご参加ください。

協力・写真提供：(左上から)水産庁、環境省、国土地理院、
陸上自衛隊、航空自衛隊、海上自衛隊、海上保安庁、警察庁

ごあいさつ

本日は、領土・主権展示館企画展「日本の島と海と空を守る仕事」にご来場いただき誠にありがとうございます。

突然ですが、今日のあなたの生活を少し思い返してみましょう。朝起きて、顔を洗おうと蛇口をひねる。すると水が出ました。家を出て駅に着く。すると電車が走っていました。当たり前のことに感じます。しかし、これらは誰かの仕事があれば起こりえないことです。

つまり私たちの当たり前の暮らしはその裏で日々、他の誰かの仕事に支えられています。

同じように、我が国の領土の一体性を保持し、主権を守るためにも、人知れずたくさんの人々が日々汗を流しています。

近年、ロシアによるウクライナ侵略や東シナ海・南シナ海をめぐる状況など、一段と厳しさを増す国際情勢の中で、我が国が戦後これまで享受してきた平和と安全が決して「当たり前」にあるものではないことを実感した方も多いのではないのでしょうか。

我が国の主権と独立を維持し、領域を保全する。その周辺海域に有する権利や利益を守り、国民の生命・身体・財産の安全を確保し、豊かな自然環境や動植物を保護する。そして、自由と民主主義を基調とする日本社会を引き続き確保し、自由で開かれた法の支配に基づく国際秩序を維持・強化する。

そういった目的のために、今日も危険をかえりみずに働く人々がいます。

この企画展では、各機関のご協力を得まして、陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊・海上保安庁・警察・水産庁（漁業監督官）・国土地理院・環境省（自然保護官）の仕事を紹介します。

本展においては、各機関からの提供により、彼ら/彼女らの仕事のありのままを写した、たくさんの写真を用意することができました。ぜひじっくりと一つ一つに目を通して見て下さい。

そこには私やあなたと変わらない、ごく普通の人々が働き、日本の島や海、空を守っている姿が写し出されています。これらの仕事にはたくさんの知られざる苦労があり、そしてそれ以上のやりがいにつながっています。

本展を通じて「日本の島と海と空を守る仕事」が、あなたにとってより身近に感じられるものとなり、そして願わくば、あなたの将来の夢や目標の一つとなれば幸いです。

領土・主権展示館



はじめに：自衛隊ってなんで必要なんだろう？－「抑止力」について－



アルバだよ～。今日は虎ノ門の領土・主権展示館から市ヶ谷にある**防衛省**に見学に来たよ！
すごく大きな建物だね～

アルバちゃん。こんにちは～。



今日、案内してくれる自衛隊のお姉さんかな。
こんにちは～。アルバ、とっても楽しみにしてきたよ！

アルバちゃん。いきなりだけど、
自衛隊って何をしているところかわかる？



う～ん。カッコいいお兄さんとお姉さんがいっぱいいて、いっぱいカッコいい乗り物に乗っているよね！



自衛隊は、わたしたちの国、**日本**を**防衛**してその**平和**と**安全**を守るためにあるんだよ！



日本は、70年以上も平和が続いているけど、それでも守らないといけないの？

アルバちゃんの言うとおり、日本は1945年に終わった第二次世界大戦の後、ずっと**平和国家**として、**国際社会の平和と安定のためにがんばってきたよ！**そして**国際社会のルールを守って**大きく成長して栄えてきたんだ！



でもすべての国が同じように考えるとは限らないの。軍力を使ったり、おどかしたりすることで日本の土地や物をうばったり、日本に無理な要求を受け入れさせようという国があるかもしれない。特に日本の周りには急速に**軍力を強化している国もあるの**。その中には**自由とか民主主義**といった価値観を必ずしも共有していない国もあるの。



もちろん話し合いや協力で、日本の平和と安全が守られない状況になることを未然に防ぐことは重要だけど、**国を確実に守るためには、自衛隊が万全の態勢を整えて日本を守る意思と能力があることを外国に示すことが必要なの**。そして、同じ考え方をする国々と協力して、ルールに基づいた自由で開かれた**国際社会を守っていくの**。



このように外国に日本を武力でおどかしたり攻めたりすることを思いとどませる力を「**抑止力**」って言うんだよ！自衛隊があるのは外国と戦争がしたいからではなくて、**他の国に「日本とは戦争をしたくない」と思わせて平和を保つためなんだよ！**



情報を集める・監視する 一ふだんからの情報収集・警戒監視



アルバちゃん。日本の国土の特徴って何だろう？

お友達のエリカちゃんとかりゃんこちゃんとはなかなか会えないんだよね！
意外と広いってことかな？



そうだね。日本の面積は約38万km²で、世界で62位だけど、島が点在していて、南北にも東西にも長いんだ。南北(2800km)はアメリカ合衆国の本土(2600km)より長いんだよ。



そして、島があちこちにあるので、排他的経済水域(漁業をしたり、石油などの天然資源を掘るという活動を他の国に邪魔されずに自由に行うことができる水域)の広さは、世界第6位なんだ。この広大な海で何が起きても対応できるよう自衛隊はふだんから24時間態勢で日本の領海・領空とその周辺の海空域での情報収集や警戒監視をしているんだ！



すご〜い!!



わが国周辺海空域での警戒監視イメージ

具体的には、航空自衛隊が航空機やレーダーサイトにより日本及びその周辺の空の状況を、そして海上自衛隊は、哨戒機などにより、日本周辺海域での船舶の状況を、24時間態勢で監視しています。その他、陸上自衛隊の沿岸監視所や海上自衛隊の警備所などが主要な海域を見張っています。



警戒監視にあたる海自哨戒機



FPS-5

しょう かい 哨戒任務につく海上自衛官



哨戒機のパイロット



ホーオーちゃん:51空非公認キャラ

機上音響員



航空発動機整備員

しょう かい き 哨戒機での活動



発進



プリブリーフィング



操縦するパイロット



戦術を統制する戦術航空士



船舶等の写真撮影をする隊員



航空機の整備をする隊員

侵入を防ぐ・警告する ー外国の航空機への対処ー



レーダーなどで監視をしていて、日本に接近する航空機を見つけたらどうするの？

日本の領空に侵入するおそれのある航空機を発見した場合には、航空自衛隊は戦闘機などを緊急発進（スクランブル）させ、その航空機の状況を確認し、行動を監視するよ。

さらに、航空機が実際に領空に侵入した場合には、退去するよう警告を行うんだよ。2022年度には航空自衛隊は1年間で778回もこの緊急発進を行ったよ。



対領空侵犯措置の流れ

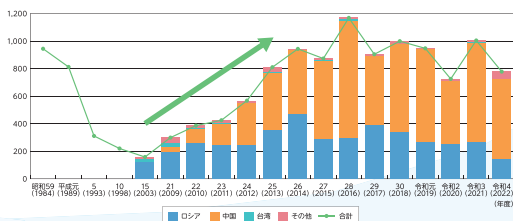


中国とロシアへの対応が大部分を占めているんだね！
航空機って速いからいつも大急ぎで対応しないといけないんだね。



F-35A

緊急発進の実施回数とその内訳



対領空侵犯措置任務につく航空自衛官

緊急発進（スクランブル）の手順

発進指示!!



防空指令所からの緊急発進指示



要撃機への搭乗



発進前の点検を行う隊士と整備員

テイクオフ!!



緊急発進する要撃機



兵器管制官

我々兵器管制官は、交代制勤務により、365日、昼夜を問わず我が国周辺空域を監視し、接近又は侵入してくる航空機等を早期に発見、識別し、必要に応じて戦闘機などを緊急発進させ、進入する航空機等へ誘導します。

2022年度の緊急発進回数は778回であり、対領空侵犯措置任務は、我が国の領土・領空を守る上で、重要な役割を担っています。我々戦闘機操縦者は、対領空侵犯措置任務等、防衛の最前線において国防という崇高な任務を担っているということに責任ややりがいを感じ、日々、厳しい訓練に臨んでいます。



戦闘機操縦者



航空機整備員

我々航空機整備員は、対領空侵犯任務等の遂行に支障なく、常に航空機が安全に飛べるよう、各種整備作業を行っています。航空機の整備は奥が深く、マニュアルにはない知識や、積み重ねた経験が重要になります。また、地域により整備上の着眼（沖縄の塩害等）が異なり、地域特性に応じた整備も必要になります。

備える・守る ー日本の島々を守るためにー



アルバちゃんは、日本にはいくつ島があるか知ってる？

アルバ得意な質問だね～。最近の国土地理院さんの調査で**14,125島**と発表されたね！



日本が有する多くの島々を守るためには、

- ① **自衛隊の部隊をきちんと配備**しておくこと、また、状況に応じて
- ② **部隊を速やかに移動**させること、そして、
- ③ **もし島が敵に占領されてしまったら、取り戻せる**ようにしておくことが必要なんだ。

ふだんからしっかり**備えて**おかなければいけないだね！



島々の防衛のイメージ図

① 平素からの部隊配置

1. 海や空で相手より優位に立つことができる状況を確認・維持

2. 島々への自衛隊の部隊の移動・配置

② 侵攻阻止に必要な「機動展開」

敵よりも先に攻撃が予想される地域に部隊を移動させ、遠方からミサイルなどを使って、敵の部隊の接近や上陸を阻止

③ 島しよ部に侵攻された場合の「奪回」

島を敵に占領されてしまった場合にその島を取り戻すための作戦（敵の部隊を攻撃制圧、自衛隊の部隊を上陸させるなど）



南西地域の防衛体制の強化



島しょ防衛任務につく陸上自衛官

水陸両用車の上陸の流れ

1. 準備



船の中で救命具を装着

2. 艦艇から出発



1両ずつ海上自衛隊の誘導により発進

3. 洋上を航行



洋上を1列で航行

4. 上陸



水陸両用車から隊員が出て上陸



第2水陸機動連隊(相浦駐屯地)

水陸機動団とは？

日本には多くの島々があり、その一つ一つが日本の領土です。私たちの生活を守るためにも、島を守るということはとても大切なことです。その島々の防衛と奪還などの役割を担っているのが水陸機動団です。

入隊動機、水陸機動団に配属された経緯

学校の先輩が自衛官になったこともあり、私にとって自衛隊は身近な存在でした。水陸機動団は、国防のため、志が高い人たちが集まっている組織です。昔から国のために働きたいという強い思いがありましたので、6年前に水陸機動団に来ました。

所属する部隊での任務、やりがい

本部管理中隊情報小隊に所属しており、水陸機動団が行動するために必要な情報収集を行う偵察部隊です。

時代に合わせて軍事技術も進化しています。新しい知識や技術を身に付けなければならないため大変なこともありますが、訓練を積み重ねていく中で、うまく連携できたときなど、成果を実感できた際にやりがいを感じます。

所属する部隊での任務、やりがい

主として指揮連絡のための通信確保を行ってきました。いま現在の仕事はネットワーク電子線システムを活用した電磁波作戦のための中継組として仕事をしています。

最近、SNSなどで自衛隊を応援してくれるメッセージをたくさん見かけますが、我々自衛官も日々の生活を支えてくれる国民の方々に感謝しております。



第301電子中隊(奄美駐屯地)